



地域の自然と人々との関わりから学びを深める実践

郡山市立西田学園の実践

「地域に学ぶ」総合的な学習の実践

西田学園の5年生は大単元として「米作り」を位置づけ、長いスパンで米作り体験を行っています。米作り体験は西田学園創立前の高野小学校時代から続いています。田植え体験、稲刈り体験では、地域の方々にていねいに教えていただきます。また、収穫後は、調理実習で味わうとともに、教えていただいた農家の方への感謝の気持ちを伝えます。さらに、田んぼの水環境から地域の環境学習に関連付けて学習を進めています。



5年生 田植え・稲刈り体験



6年生 雪村庵での地域学習

西田学園は地域のよさを知り、地域を誇りに思う取組が満載なのだ！



6年生は「西田町の『知りたい』を調べよう」として地域のよさを実感する学習を進めています。「雪村庵」「鹿嶋大神宮」などを見学し地域の方に説明していただきます。



地域の方と「ホタル」から学ぶ

5年ほど前から西田公民館の事業としてホタルの放流を実施しています。令和元年のホタル放流会に当時の4年生が参加したことをきっかけに、もっとホタルを知りたい、育ててみたいという思いから、西田学園の「ホタル学習」がスタートしました。ホタルの育て方などは「ホタル愛光会」の菊池さんや反田さんに学校に来ていただいて、教えてもらいます。

4年生 ホタルの見学会

学校ではホタルやホタルの餌になるカワニナを育てています。そして、自分たちが育てたホタルを川に返して地域で光って欲しいという思いから、ホタル愛光会の皆さんや区長さん、公民館長さんとともに天神川にホタルを放流しています。6月には保護者も参加してホタルの観察会を実施しました。この学習で学んだことは、文化祭で発表します。ホタルを育てることで西田町に目を向け、そして川を通して環境やそこで育つ命に目を向ける学習へとつなげて学びを広げています。



4年生 学習発表会での発表

西田町のよさを発信する高校生の活躍「I ♡ NISITA プロジェクト」

西田学園を卒業した渡辺千紘さん（郡山商業在学）は、西田町のよさを知り、生き生きと幸せを感じながら住み続けたいと思う住民を増やすために「I ♡ NISHITA（あいらびにした）プロジェクト」を立ち上げ、ウェブサイトを経営しています。ウェブサイトには、西田町に関するクイズ、子ども達が地域学習で活用できる地域素材集、プロジェクトメンバーが考えたイベント等の情報が載せられています。統合の後、地域との関わりが薄くなる中、西田町の魅力を知り、西田町を好きになる子ども達を増やすための取組を行っています。先日は、復興庁の「クラウドファンディング支援事業」を活用して得た支援金の一部を西田学園へ寄付しました。ふるさとを思い、地域活性化のために取り組む高校生の活動に、我々も学ぶべき事がたくさんあると感じました。

I ♡ NISHITA プロジェクトHP

<https://ilovenishita.jp>



「鹿嶋大神宮」で6年生が

地域を学ぶ学習を実施しました 西田学園だより（令和2年11月17日発行No.31）より抜粋

「I ♡ NISHITA プロジェクト」の皆さん、ありがとうございました

本校の卒業生・渡辺千紘さんが中心となって活動を進めている「I ♡ NISHITA プロジェクト」。私たちの西田町の魅力をウェブサイトで発信し、交流イベントの企画・運営を行っています。すでに今年の夏休みには「STAY TOWN! 西田町で遊ぼう」という活動も実施しており、参加した子どももいたのではないのでしょうか。

今回、「I ♡ NISHITA プロジェクト」で2020年1月から復興庁の「クラウドファンディング支援事業」を活用し、多くの方々から支援や賛同をいただいた中から、西田学園の子どもたちの教育活動充実のために活用してほしいと、学校に寄付をいただきました。いただいた寄付を教育活動で使用するバス代などに活用していきたいと思っております。

「I ♡ NISHITA プロジェクト」の皆様、ありがとうございました。



地域との連携による教育活動

しめ縄づくり

～三春町立中郷小学校～

中郷小学校では、中郷まちづくり協会、PTA、老人会、交流館長の協力のもと、田植え、稲刈り、もちつき、縄もじり、しめ縄づくりなどの体験学習を毎年行っています。

12月4日には、老人会の方々を講師に迎え、稲刈り後のわらを使っての縄もじり、しめ縄づくりに全校児童で取り組みました。新型コロナウイルス感染拡大防止から、会場を4つ（1・2年生、3年生、4・5年生、6年生）に分けて行いました。高学年の児童は、何年も行っているもので、手際よくしめ縄を作っていました。1・2年生は講師の方々に手取り足取り教えていただきながら縄もじりに熱心に取り組み、競ってより長い縄に仕上げていました。

今回の体験は、なぜお正月にしめ縄を飾るのかなど、日本の伝統文化を知る機会でもありますし、今後伝統を継承していく人材の育成にもつながると思います。



発行・編集 福島県教育庁県中教育事務所総務社会教育課

TEL:024-935-1488 HP: <https://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/70210a/>

